

やまなしの青少年

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町517番地 山梨県青少年センター内 電話:055-287-6415 FAX:055-237-5312

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~ikusei> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp

平成23年度

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター展特選・優秀賞受賞作品



特選 山梨県青少年総合対策本部長賞(知事賞)
上野小学校 4年 山村 遥音



優秀 山梨日日新聞社賞
南西中学校 3年
中込 有咲



優秀 テレビ山梨社長賞
勝山小学校 3年
梶原 このみ



優秀 山梨県教育長賞
東中学校 1年
長田 莉奈



優秀 山梨放送賞
下吉田東小学校 6年
渡邊 ひかる



優秀 NHK甲府放送局長賞
石和東小学校 5年
和田 愛美



優秀 社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
田富小学校 1年
高橋 虹太郎



優秀 社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
三富小学校 2年
長田 恭英



優秀 社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
勝山中学校 1年
流石 伸之輔



優秀 社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
竜王西小学校 5年
中島 希々花

目次

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター展特選・優秀作品紹介 1

- 子ども・若者育成支援推進大会
- ポスター展表彰 2
- 少年の主張県大会
- 街頭キャンペーン
- 非行・被害防止県大会 3

シリーズ
「子ども・若者の底力を信じて」
青少年主体の地域活動を紹介 4-5

「少年の主張」
県大会最優秀作品 6

- 市町村民会議等紹介
- 困ったときに役立つサイト 7
- 投書欄「読者の声」
- 県民会議会員募集
- 賛助会員の皆さん
- 編集後記 8

「23年度 子ども・若者育成支援推進大会」開催

平成23年11月9日、標記大会が県立文学館講堂で約400人の関係者が参加し、盛大に開催されました。

この大会は、家庭、学校、地域住民、企業などが一体となって青少年健全育成県民運動を広めるために開催されるもので、本年度のテーマは「育てよう 健やかに 支えよう地域で」です。

当日は、青少年健全育成功労者への表彰（知事表彰）、山梨大学の岡林春雄教授の「関わりの中で人は育つ」～一生涯にわたる発達～と題した講演、「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター入選者の表彰が行われ、最後に大会宣言を採択し終了しました。

山梨県青少年健全育成功労者表彰受賞者（知事表彰）

佐々木 力 様（大月市青少年育成推進員連絡協議会会長）、
藤巻 敏夫 様（南アルプス市青少年育成カウンセラー）、
藤本 征男 様（青少年育成昭和町民会議副会長）



「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター 特選に上野小学校 山村 遥音さん



毎月第1日曜日は「家庭の日」、第3日曜日は「青少年を育む日」です。県民会議ではこの啓発活動の一環として、毎年、ポスター募集を行っています。



今年は、県下の小中高校生、一般から6,503点の応募があり、審査会を経て特選1点、優秀9点、佳作10点が選ばれました。表彰式は、11月9日に県立文学館講堂で開催されました。「子ども・若者育成支援推進大会」の席で行われました。入賞作品は、当日大会会場に展示され多くの参加者が見入っていました。また、特選、

優秀作品は本号1面に掲載しております。さらに、入賞作品は当県民会議で発行する平成24年のカレンダーに使用され、関係機関などに配布されました。

入 選 者

特選【山梨県青少年総合対策本部長賞（知事賞）】

山村遥音（上野小学校）

優秀【山梨日日新聞社賞】中込有咲（南西中学校）

【テレビ山梨社長賞】梶原このみ（勝山小学校）

【山梨県教育長賞】長田莉奈（東中学校）

【山梨放送賞】渡邊ひかる（下吉田東小学校）

【NHK甲府放送局長賞】和田愛美（石和東小学校）

【社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞】

高橋虹太郎（田富小学校） 長田恭英（三富小学校）

中島希々花（竜王西小学校） 流石伸之輔（勝山中学校）

佳作【社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞】

遠藤あすか（里垣小学校） 俵さくら（西条小学校）

小林元（千塚小学校） 小林潮人（竜王北小学校）

土屋燦子（下吉田第二小学校） 岩澤周音（三富小学校）

君島直幸（千塚小学校） 阪本理葉（勝沼中学校）

内田春香（勝沼中学校） 深沢朝実（駿台甲府高等学校）

毎月第1日曜日は

家庭の日

- ◆ 今日一日の出来事などをみんなで話し合おう。
- ◆ 家族そろって共同作業をしよう。
- ◆ 地域の行事に家族みんなで参加しよう。

毎月第3日曜日は

青少年を育む日

- ◆ 地域の行事などへ青少年の積極的な参加を促そう。
- ◆ 非行や交通事故、犯罪被害防止のための地域活動に取り組もう。

「少年の主張」山梨県大会開催 最優秀賞に井出有紀さん

平成23年度「少年の主張」山梨県大会が8月27日、県立青少年センターで開催され、応募総数586人の中から原稿審査で選ばれた14人の中学生が素晴らしい意見を発表しました。最優秀賞に選ばれた井出さんは全国大会へ推薦されました。



平成23年度「少年の主張」山梨県大会 入賞者

	題名	学校	名前	
最優秀(山梨県教育長賞)	私が私になる為に	駿台甲府中学校(甲府市)	井出有紀	
優秀(山梨放送賞)	心に灯す「命」	山梨学院大学附属中学校(甲府市)	大木健太郎	
優秀(テレビ山梨社長賞)	未来人増加計画	北中学校(甲府市)	栗田寧桜	
優秀(山梨日日新聞社賞)	二人からのおくりもの	韭崎西中学校(韭崎市)	狐塚真子	
優秀(NHK甲府放送局長賞)	言霊	笛川中学校(山梨市)	掛川真里奈	
優秀(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)	言葉への責任	山梨南中学校(山梨市)	飯嶋奏人	
優秀	//	あの笑顔を忘れない	塩山北中学校(甲州市)	柏原彩音
優秀	//	無限大の私	泉中学校(北杜市)	加藤あずさ
優秀	//	明日のことは分からないから	増穂中学校(富士川町)	鮫田一葉
優秀	//	私の成長	笛川中学校(山梨市)	角田智美
優秀	//	「安全」の重要性	上野原中学校(上野原市)	丸山優斗
優秀	//	こんな時こそ	増穂中学校(富士川町)	丸山風樹
優秀	//	挨拶で繋がる	一宮中学校(笛吹市)	三澤麻美子
優秀	//	成長するということ	南西中学校(甲府市)	山田真宙

「健全育成街頭キャンペーン」を展開

毎年、11月は国が主唱する「子ども・若者育成支援強調月間」にあたります。

これに呼応し、全国各地で青少年が健やかに育つことを願って、様々な活動が展開されております。

本県民会議におきましても、この活動の一環として11



月3日、昭和町の「イオンモール甲府昭和」で街頭キャンペーンを行いました。関係者など約25人が、啓発のためののり掲げ、併せて啓発物品を配布しながら、青少年の育成支援活動への理解と積極的な参加を呼びかけました。



「青少年の非行・被害防止県民大会」開催



青少年育成山梨県民会議(会長 種田一夫)と山梨県青少年総合対策本部(本部長 横内正明知事)は、青少年の非行・被害防止全国強調月間(7/1~7/31)の一環として、地域と関係機関・団体とが相互に連携し、青少年の規範意識の醸成及び有害環境の浄化を図るため、平成23年7月8日(金)に甲府市総合市民会館にて「きびしさとやさしさで摘む非行の芽」をスローガンに平成23年度「青少年の非行・被害防止県民大会」開催しました。

大会では、都留高等学校及び山梨大学附属中学



校の生徒による意見発表やNPO法人ユース・サポート・センター・友懇塾 理事長 井内清満氏が「青少年の非行問題と立ち直り支援について」と題し講演を行いました。

大会には、教育関係者及び青少年育成関係者など約500人の参加があり、大会宣言が採択され、参加者全員でこれからの家庭や地域における青少年の健全育成と非行・被害防止について考えました。

子どもや若者が自主的に取り組む社会体験や自然活動などを紹介します。

シリーズ

育てよう青少年の主体的な活動

子ども若者

異年齢集団で、楽しく活動し、生きる力をつけよう！

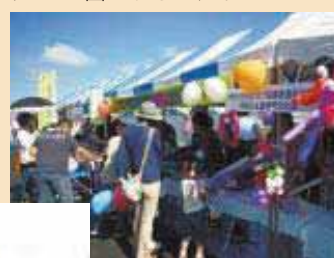
甲斐市青少年育成カウンセラー
廣瀬 俊江

甲斐市には、青少年育成甲斐市市民会議及び青少年育成甲斐市竜王・敷島・双葉の3地区にそれぞれ地区市民会議があります。市民会議及び3地区市民会議では青少年の健全育成のため様々な活動を行っています。また、甲斐市子どもクラブ指導者連絡協議会があり、ジュニアリーダーの育成に取り組んでいます。各地区でも、それぞれジュニアリーダーの育成のため研修会が行われています。ジュニアリーダーの活躍の場のひとつに10月に行われる甲斐市わくわくフェスタがあり、毎年バルーンアートを出店しています。わくわくフェスタに向けては、毎年3地区のジュニアリーダーの交流を深め、バルーンの技術を年上

のリーダーから学ぶための交流会も行っています。今年は、さらに新聞紙で作るエコバックの作り方も学びました。

10月16日(日)には、甲斐市わくわくフェスタが晴天の下行われ、多くのジュニアリーダーやシニアリーダー、指導者が参加しバルーンで作った犬や花、刀等を配ったり、教えたりして大勢の子どもたちに喜ばれました。

これからも、『異年齢集団で・楽しく・生きる力をつける事』を目標に、市及び各地区でジュニアリーダーの育成に取り組んでまいります。



▲新聞紙のエコバック作り



甲斐市わくわくフェスタ

一親子で参加「もちつき大会」

南部町青少年育成カウンセラー
西川 真理子

青少年健全育成の一環として、児童館・図書館等で様々なイベントや教室を開いていますが、中央公民館主催の『もちつき大会』をご紹介します。

中央公民館には〈子ども教室〉という事業があり、夏休みの料理教室やお菓子づくり教室が大変人気となっていますが、『もちつき大会』の特徴は子どもだけではなくおとなも一緒になって、普段の食生活を見つめ直し、栄養の大切さや季節の行事・伝統を学び、親睦も深めるところにあります。

町の食生活改善推進員さんにご協力をいただきながら、もち米も推進員さんが丹精込めて作ったものを使います。

食生活が変化し、もち米を使った料理はもちろん、もち米そのものすら知らない子どもが増えてきていますが、推進員さんの説明や指導の下、大切な学習の機会にもなっていま



す。そして、なんといっても昔ながらの用具を使って杵つき餅を自分たちで作る、その場で餡や黄粉、大根おろし(すべて推進員さんの自家製)で食すのですから楽しくておいしさに決まっています。今年の『もちつき大会』は、12月10日(日)に実施しました。町内4つの小学校から28名の申し込みがあり、小さなきょうだい達やお父さんお母さんを含めると60名以上による賑やかなもちつきとなりました。

そして、この事業のもう一つの特徴は開催場所にあるといえます。会場となった万沢公民館のある地区は県境に接し、子どもの数も非常に少ない地域です。

様々な催しの多くが本庁舎・分庁舎やその近辺で行われるため、この地域の子どもの参加が限られてしまっているように感じていました。子どもの達の明るく元気な声や姿は地域の活気につながります。参加した子どもたちが家に帰り、その様子を家族に話すことによって家中の話題となるでしょう。地域のおとなも参加すればみんなの笑顔が広がって行くでしょう。今後も是非続けて行きたい催しです。楽しんだ後は、皆が協力しての片づけ作業で『もちつき大会』は終了しました。



底力を信じて

みんなで
地域社会づくりを
考えていきましょう。

夢とつるおいのあるたくましい青少年を

富士河口湖町青少年育成カウンセラー
渡辺 浩基



明日の富士河口湖町を担う青少年が自主、自立に富み、広い視野と豊かな情操を持ち、心身共にたくましく、伸び伸び

と成長することは青少年自身の課題であると共に、町民すべての願いでもあります。

富士河口湖町民会議では、学校、家庭、地域社会との連携を一層密にして、青少年の健全育成を協力に推進しています。

活動方針の重点目標の一つにジュニアリーダー養成と子どもクラブ活動の推進があります。

町村合併以前から続けている子どもクラブ別ソフトボール大会、ミニソフトボール大会ではジュニアリーダーが主体となり大会を運営していますが、ソフトボール大会では県大会で何度



か優勝の栄に輝いています。例年8月には中央公民館で1泊2日の宿泊研修を行っています。今年も昨年に引き続き、翌日から国立青少年交流の家で行う南都留地区ジュニアリーダー研修会と合流し、親睦を深めました。



12月には、東京の科学技術館へ視野を広める目的で日帰り研修も行いました。

また、毎年夏休み前と冬休み前には青少年育成成人づくり推進地域会議を実施し、長期休業に備えての話し合いも行っていきます。

更に平成14年、学校週5日制の実施に伴い、毎月第2土曜日を町独自の「サンアイデー」（ふれアイ、学びアイ、助けアイ）を制定、親子ふれあいの日とし、明るい家庭づくりの推進と地域教育力の活性化を図っています。

年度末には、機関紙「富士河口湖の青少年」を編集発行、全戸配布して町民の理解と協力をお願いし、地域ぐるみの人づくり推進に取り組んでいます。

体験活動を通して、繋がり輪を広げる

上野原市青少年育成カウンセラー
市川 幸子

上野原市では、異年齢の子ども同士と一緒に様々な体験活動を通して「心豊かに、たくましく成長すること」を目指して、青少年育成連絡協議会の主催で育成活動を行っています。その中の一つをご紹介します。

8月10日（水）に、小学5年生から中学2年生まで32名と、市内の高校生10名も参加し、県立ゆずりはら青少年自然の里で「子ども日帰りキャンプ」を実施しました。

まず、楽しくゲームをしながら参加者同士が顔と名前を覚えることから始め、次は昼食の「ナンとキーマカレー」作りに挑戦です。42名の子どもたちは5班に分かれ、自然の里の先生方の指導の下、ナン作りとキーマカレー作りに取り組みました。

ナン作りの子もたちは、火おこしのため杉の枯葉を拾い集め、U字溝の竈で火を熾しナンを焼きました。キーマカレー担当の子もたちは、野菜のみじん切りにちょっと苦労したようですがおいしく出来上がりました。

皆で協力し合って作ったナンとキーマカレーの味は格別だっ



▲火おこしの様子



▲ゲームの様子

たようで、どの子も笑顔いっぱいでお代わりしながら食べていました。午後は普通の遊びの中では殆どできなかった

川遊びです。川流れを楽しむ子、魚やカニなどを探す子、嬉嬉しながら水の掛け合いをする子など、川原に子どもたちの元気な歓声が響き渡っていました。

参加した子どもたちからは「カレーがおいしかった」「川遊びが楽しかった」「楽しく、いい経験ができた」などの声が聞かれました。

今、上野原市においても、少子化の進行が著しく、また、ゲーム等遊びの偏りも見られたり、異年齢の子ども同士が戸外で一緒に遊ぶといった姿を見ることが極めて少なくなってきました。

このような中だからこそ、小学生から高校生までの子どもたちが一緒に、豊かな自然の中で体験活動を楽しみながら交流し、繋がり輪を広げ、「心豊かに、たくましく成長すること」を願って育成活動を続けていきたいと思ひます。



▲川遊びの様子



▲楽しく食事する様子

平成23年度「少年の主張」山梨県大会最優秀賞

私が私になる為に

私には、少し変わった夢があります。それは、「大自然の中でフリースクールを開校すること」。なかなか理解されにくい夢かもしれません。現在日本にあるフリースクールは、不登校の子供達が通う為の学校です。でも、私が開きたい学校は、それとは少し違ったものです。私の考えているフリースクールは、不登校になってしまった子の他に、体が弱くて学校に通えない子、障害を持った子がそれぞれの個性を生かし、ゆっくり、のんびり、色々な事を考えながら、学びあっていく為の場所です。

なぜ私がフリースクールを開きたいと思うようになったのかというと、それには私の幼い頃からの経験と関係があります。

私は小さい頃から、習っていた音楽の先生に連れられて、何度か特別支援学校を訪問する事がありました。皆で歌ったり、手遊びをしたりして楽しく過ごした事を覚えています。その中でも一番印象に残っている事は、特別支援学校の生徒さん達の笑顔です。私達が歌を披露したりすると、彼らはとても嬉しそうにニコニコして、拍手をしてくれたのです。それまで、私がどこで歌っても、こんなに無邪気に、幸せそうに笑ってくれる人はいませんでした。その素直な笑顔は、私に「もっとこの人達と仲良くしてみたい」と思わせるような、魅力的なものでした。それが、私の夢のはじまりだったのかもしれない。そんな事もあって、私は小さい頃から、「障害」を「個性」として受け止める力を自然と身に付けていたように思います。友達になるのには、障害があるかないかなんて、何の関係もないのだと、私は思います。

けれども、中学生になって、毎日の通学で駅に行ったりするうちに、皆が皆、そう思っている訳ではないという事に気が付きました。

駅で障害を持った人を見かけた時、意識的に避けて通ったり、逆にジロジロ見てしまったりする人は沢山います。そういう状態に、私は強い違和感を覚えていました。そういった行為が、ひどく無遠慮で、失礼に思えたのです。健常者である自分と障害を持つ人とを比べたら、自分の方が優れているとでも思っているのでしょうか。人はそれぞれ個性を持っています。だから、誰かと比べたところで、その人の本当の価値は問えないし、優劣もつけられません。



駿台甲府中学校 2年
井出 有紀

近頃、人と比べる事でしか自分の存在価値を確かめる事のできない人が増えているように思います。それは少し、寂しい事ではないでしょうか。

しかし、中2になった今では、もしかしたら、そういう人達は、単に戸惑っていただけなのかもしれない、と思えるようになりました。きっと障害を持った人への接し方が分らなかつただけなのでしょう。慣れていないのだから仕方ありません。もし今度、障害を持った人に接する機会があったら、目を見て、話しかけたり、笑いかけたりしてみてください。難しく考えず、普段友達と話すときのように接したらいいのです。それを見て不快に思う人はいないと思います。もしかしたら、思いもよらない反応が返ってくるかもしれません。

でも怖がらないで。まずは受け入れてもらうより、受け入れる事が大切なからです。人はそのことを、思いやりといいます。

私は、沢山のひととふれあい、いろいろな価値観を発見する事が好きです。そして何か新しい発見したら、まずは感嘆し、受け入れる事を私のモットーとしています。世の中には、「私のことを受け入れて!」と一方的に自己主張する人が沢山います。けれど、自己主張をする前に、まずは誰かを分かろうとする努力やおおらかさが必要なのではないかと思います。私は、人を受け入れる事は、その人の素晴らしい所を自分の中に取り入れる事だと考えています。もっとシンプルに、おおらかに生きてゆきたい。だから私はフリースクールの先生になりたいのです。

フリースクールの先生になる為にはどうしたらいいのか、正直にいうとまだよく分かりません。きっと様々な資格が必要となるのでしょうか。けれども、資格以上に必要なものは、人間の厚みだと思います。将来、沢山の人の助けになれるように、日々多くの事を感じ、学びとりながら、強く、強く、夢に向かって邁進してゆきます。もっともっと、私が私になる為に。

地域を支える市町村民会議と町村の取組

中央市民会議

【会長】 田中 久雄 氏
 【設立】 平成18年2月18日
 (田富町・玉穂町・豊富村が合併して中央市となったため)
 【組織】 青少年育成中央市民会議
 各種団体関係者
 【会員数】 290人
 【事務局】 中央市臼井阿原301-1
 中央市教育委員会 生涯教育課



田中久雄会長

【目的】 中央市の将来を担う地域の青少年は、地域で育てることを目的とし、「学校」「家庭」「地域」の関係を重視し、広く市民の協力を得て青少年の健全育成を図る。声かけ、あいさつ運動を積極的におこなうとともに、非行防止や被害防止のため、青少年育成推進員と事務局による地域巡回パトロールを行う。

【青少年への期待】 青少年には、地域において計画されている諸行事には積極的に参加することを促しながら、縦横の関係を深めることにより、人間関係を築き上げることを目的とする。人と人の絆を重んじることができる人間になってほしい。

【活動・概要】 ①市内小学校6校、中学校2校を対象にした「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発作品募集 ②7月「青少年の非行・被害防止強調月間」に総会・市民大会を実施 ③子どもクラブ親睦球技大会(8月実施) ④小中学校の夏休み中に「夏期防犯パトロールを推進員とともに実施 ⑤ラジオ体操教室実施 ⑥11月「子ども・若者育成支援推進大会」で家庭の日の啓発作品(特選者30名)の表彰式を実施。⑦年末・年始防犯パトロール実施 (青少年育成中央だよりの発行) 啓発作品の作品集から「年度版カレンダー」を作成

【今後の目標】 「地域の安全は地域で守る」の精神のもとに、青少年健全育成に関わっている地域の「構成員」「青少年育成推進員」「子どもクラブ指導員」や「ボランティア」との協力を仰いだり、連携しながら子どもを見守りたい。

鳴沢村青少年育成活動

【目的】

鳴沢村には青少年の健全育成を目的に活動している「鳴沢村青少年育成会」といった団体があります。主に青少年の保護者から構成されています。育成会では「子供達が遊びながら、友達や大人とのふれあいを通じて、社会のルールや自然の大切さ、また人の痛みの解る優しい人に成長してほしい」と願い、年間を通じて各種事業を実施し、子供達の成長の為に活動を定期的に行っています。

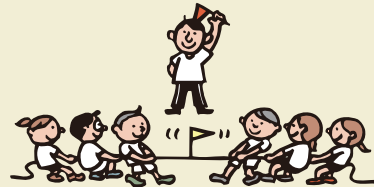
【事業の内容】

具体的に育成会では、活動の一例として

1. 伝統の鳴沢地区・大田和地区の地区祭り実施の際に子どもたちに御神輿巡行の指導
2. 野外で飯ごうを用いてごはんを炊くカレー作り(対象学年:小2)
3. 夏休みラジオ体操および奉仕(清掃)活動(対象学年:小・中学生)
4. 野外体験学習「バーベキュー」(対象学年:小5・6)
5. 山梨県子ども綱引き大会出場(対象学年:小4・5・6)
6. 愛のパトロールなど主に小学生を中心とした各種事業があります。子どもたちに事業の参加を通じて様々な体験をし、小学生から成人へと次第に広がる社会のなかに順応できる人になるよう期待して活動を行っています。

【今後の期待】

青少年の健全な育成活動を継続し推進すると共に、子どもたちがふるさとに愛着を抱き、将来ふるさとの発展に寄与するような次世代を担う子どもたちが育つことを願います。



ひとりで悩むの、もうやめよう

学校のこと、家のこと、友だちのこと・・・誰にも悩んであるよね。ひとりで考えていても解決できないことや、誰にも相談できないこともあるよね。そんな時は気軽に電話をかけてきてね。きっと、あなたの力になれるから。

名 称	電 話 番 号	開 設 時 間
中央児童相談所	055(254)8617	月～金 8:30～17:15
都留児童相談所	0554(45)7838	月～金 8:30～17:15
ヤングテレホンコーナー(甲府・吉田)	055(235)4444(甲府) 0555(22)4444(吉田)	月～金 8:30～17:00
総合教育センターいじめ・不登校ホットライン	055(263)3711	24時間いつでも対応します。
チャイルドラインやまなし	0120(99)7777(フリーダイヤル)	毎 日 16:00～21:00
山梨いのちの電話	055(221)4343	火～日 16:00～22:00
自殺予防いのちの電話	0120(738)556(フリーダイヤル)	毎月10日 午前8時～翌日8時

読者の声

私はこう思う

地域の役割

「生きる力」とは具体的にどのようなものであろうか？個人的には3つの要素があると思う。それは、①基礎学力②一般常識③生きる知恵である。

では、子どもたちはこれらを主にどこで学ぶのか。まず基礎学力は学校で学ぶ。昔から読み書きそろばんといわれるが基礎学力は基本だ。次に一般常識は家庭で学ぶ。子は親の鏡といわれるように子どもは親の真似をする。親の正しい姿勢が真直ぐな子どもを育てることは間違いない。そして生きる知恵は地域で学ぶ。基礎学力も一般常識も持っているだけでは役に立たない。上手に使いこなす知恵(社会性)が必要である。

子どもの社会性は多くの仲間や大人と共に活動することで育てられるとされる。地域という安全圏の中で、家庭では味わえない緊張感や達成感を感じる体験が社会性を大きく伸ばすのだろう。子育ては親だけであるものではないはずだ。地域活動の衰退が懸念される今、私たち大人が地域活動活性化に知恵を絞るときが来ていると思う。しっかり大地を踏みしめて歩ける子どもの育成に、地域の大人達が大いに考え挑戦し時には先頭に立ち牽引する姿勢を持つ必要性を強く感じている。

(甲州市:平山静香)

読者の声欄に投書を

本誌では、青少年の健全育成について読者の投書欄を設けています。下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。
〒400-0811 甲府市川田町517 県立青少年センター内
(社)青少年育成山梨県民会議「やまなしの青少年」担当
FAX 055-237-5312

会員を募集しています

(社)青少年育成山梨県民会議は、山梨の次代を担う青少年の健全な育成のために、県民の皆さんが協力して活動に取り組むことを目的に発足した「青少年育成県民運動」の推進母体です。

この活動は会員の会費と、山梨県からの補助金によって支えられています。青少年の健やかな成長のために、会員になって県民運動を支えて下さい。

会員には正会員と賛助会員があります。

正会員

当会議の目的に賛同していただく個人、団体の皆さんです。会費は、個人会員2,000円、団体会員3,000円をお願いしています。正会員は総会で議決権を持ちます。また、種々の事業に参加していただくこともできます。広報誌「やまなしの青少年」をお送りします。

賛助会員

当会議の目的に賛同して篤志寄付(賛助会費)をしていただく個人や企業、団体の皆さんです。賛助会費は年額1万円(一口)以上をお願いしています。広報誌等の各種資料をお送りしています。

ご協力いただいた会費は、青少年の健全育成・非行防止の推進などを目的とした事業に使わせていただきます。

◎お問い合わせ先

(社)青少年育成山梨県民会議事務局

(県立青少年センター内) TEL 055-287-6415
FAX 055-237-5312

平成23年度 賛助会員の皆さん (敬称略・順不同)

賛助会員は、当県民会議の活動に賛同して篤志寄付をしていただく個人や企業、団体の皆さんです。

個人会員

上	矢	智	幸	笛吹市
大	澤	英	二	甲府市
笠	井		勲	甲府市
小	池	三	千雄	甲府市
新	谷	義	一	山梨市
辻		英	夫	甲斐市
中	山	澄	子	北杜市
仁	科	松	雄	大月市
野	口	富	美子	甲府市
山	口	宗	正	富士河口湖町
渡	辺		正	山梨市

企業会員

(株)オギノ	甲府市	サントリー酒類(株)白州蒸溜所	北杜市
(株)長田玉夫商会	甲府市	清水工機(株)	南アルプス市
(株)吉字屋本店	甲府市	都留信用組合	富士吉田市
(株)サンニチ印刷	甲府市	日東物産(株)	甲府市
(株)三愛印刷	甲府市	富士観光開発(株)	富士河口湖町
(株)テレビ山梨	甲府市	H O Y A(株)長坂工場	北杜市
(株)はくぼく	富士川町	山梨県民信用組合	甲府市
(株)早野組	甲府市	山梨トヨタ自動車(株)	甲府市
(株)マルアイ	市川三郷町	山梨ヤクルト販売(株)	甲府市
(社)山梨県建設業協会	甲府市	ルネサスエレクトロニクス(株)甲府事業所	甲斐市
山興(株)	中央市		

編集後記

以前はこのやまなしの青少年は、年に3回刊行されていましたが、それが22年度より2回になり、今また事業評価により予算の削減が想定される状況にあります。県下の青少年育成に関する情報を公開したり、伝達をすることで、情勢の共有や、参考事案から啓発を受けたりすることが出来るといった大きな成果を果たしてきたと思っています。残念ではありますが、さらに中身の濃い広報になるよう努力していく他はありません。今回も過去の数年の記事内容を吟味しての刊行でしたが、読者皆様からの多くの意見をいただき更なる内容の充実にかけて生きたいと思っています。

広報委員会 副委員長 三浦親太郎